

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

「震災アーカイブ室」所有 収集資料のご紹介

いわき地域復興センターが取り組んでいる4事業のひとつである「震災記録の保存事業」では、東日本大震災および原発事故の記憶を後世に残すべく、平成24年度より震災に関する各種資料の収集を行ってまいりました。ネットワークの広がりに伴って、多くの方々のご協力により、これまでに2万点を超える資料が集まっております。また、最近では利用希望等の問い合わせが増えてきております。今回は、収集した資料の種類やその概要についてご紹介いたします。

【収集資料の分類・内容・収集数】(2015年10月20日現在)

■ 一次資料

・・・被災及びそこからの復旧・復興の過程において団体や個人が作成・発行した資料

収集点数
21,487点

- ① 紙資料：自治体、NPOなどが作成・発行したビラやチラシ、メモなど、震災の様子が記録された紙資料など

- ▶ 紙資料の収集数・・・計 669点
- － チラシ、パンフレット等 414枚
 - － ノート等 12冊
 - － 冊子等 43冊
 - － 新聞 200部



< (例) 各種団体が発行したチラシなど >



< (例) 安定ヨウ素剤の配布に関する資料 >



< (例) 収集した避難所の掲示物 >

- ② 映像資料：被災当時、避難生活、復旧・復興状況などの各地域の様子が撮影された写真や動画

- ▶ 映像資料の収集数・・・計 20,702点
- － 写真（紙） 539枚
 - － 写真（デジタルデータ） 19,876枚
 - － 動画記録（デジタルデータ等） 272点
 - － その他 15点



< (例) 市民の方等からご提供いただいた写真 >



- ③ その他：被災地応援のために各地から送られたモノなど

- ▶ その他（モノ）の収集数・・・計 116点

■ 二次資料

・・・一次資料の加工資料や、図書や雑誌などの刊行物

収集点数
1,672点

- ① 震災関連の発売書籍：避難者の証言記録集、小説、写真集、映像作品、震災や原発事故の検証や評論など

- ▶ 発売書籍・映像資料の収集数・・・計 804点



< (例) 販売されている書籍（写真集、記録集など） >



< (例) 販売されている映像資料（写真、映画、証言など） >

- ② 震災関連の非発売書籍：学術論文、大学等発行の報告書、政府や行政が発行する刊行物など

- ▶ 非発売書籍の収集数・・・計 420点

- ③ その他：公的機関・民間団体等が発行した広報誌・ニュースレターなど

- ▶ その他（広報誌等）の収集数・・・計 448冊



< (例) その他（自治体や民間団体などが発行した広報チラシやイベント開催案内・ニュースレターなど） >

▶ 総収集点数・・・23,159点

◆ 収集資料の保管・公開について ◆

活動の拠点として平成24年4月に設置しました【震災アーカイブ室（いわき明星大学地域交流館3階）】にて資料の保管・展示を行っております。来室された方には、資料の公開及び内容の説明も行っております。また、写真・証言記録の一部は下記ウェブサイトにも公開しております。

JST 成果発表・展示会へ参加しました

12月8日（火）にビッグパレットふくしまで行われました、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）主催のイベント【JST 成果発表・展示会 ～復興から新しい東北の創生へ～】に参加しました。このイベントは、放射線計測機器の開発成果を紹介するほか、被災地の大学や研究機関等による復興に向けた取り組みを紹介する目的で開催されました。当センターからは、「環境中放射性セシウムの負荷軽減に関する研究」をテーマに、いわき明星大学科学技術学部佐藤健二教授が中心となってこれまでに取り組んできた放射性物質除去に関する各種研究成果を、パネル展示によって紹介しました。また、独自に開発した放射性物質の除去システム装置の展示も行いました。



当センターの展示ブース

来場者に取り組みを説明する担当者

会場全体の様子

<展示会会場の様子>



<イベント案内チラシ>

第40回ミニ相談会開催報告

11月20日（金）に、「なごその記録と記憶～いわき市勿来地区の被災状況と復興について知ろう～」をテーマとして、第40回ミニ相談会をバスツアー形式にて開催しました。いわき明星大学にご集合いただいたのちバスでいわき市立錦公民館に移動し、公民館で開催していた【なごその記録と記憶 東日本大震災アーカイブ写真展】見学、勿来地区在住の方による講演、大学への帰途に被災地見学を行いました。写真展見学後、勿来地区で震災前から民間交番「関の子広場」で活動されてきた赤津久元氏に、震災時の体験やその後の活動内容についてお話しいただきました。その後、東日本大震災で津波被害を受け、現在防潮堤建設等の復旧・復興工事が進んでいるいわき市岩間・小浜地区を車窓から見学しました。今回はいつも以上に多くの方にご参加いただきました。



① アーカイブ写真展見学のようす

② 勿来地区在住 赤津久元氏講演のようす

③ 車内から沿岸部を見学するようす

④ いわき市岩間地区で建築が進められている防潮堤

第41回ミニ相談会開催報告

12月17日（木）に、いわき復興支援・観光案内所の四家直直氏を講師にお招きし、「被災地へ行って・見て・学ぶ～被災地情報の発信と受け入れについて～」をテーマに第41回ミニ相談会を開催しました。いわき市観光交流人口の動向、被災地を見学するスタディツアーの実施状況、アンケート結果から見るツアー参加者の声等について詳細なデータを示しながら説明いただきました。いわき在住の方々にもツアーにご参加いただきいと話しておられました。<講師 四家氏> <会場の様子>



次回ミニ相談会のご案内（第42回）

日時：平成28年1月21日（木） 10：30～12：00

場所：いわき明星大学本館1階 教員談話室

テーマ：「原発事故から5年 安全・安心って何？」

～私達の身の回りの放射性物質・化学物質～

講師：いわき明星大学科学技術学部 教授 佐藤 健二

文部科学省
平成23年度大学等における
地域復興のためのセンター的機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-iwaki.net/>

